

令和7年度 教育と福祉の連携事業 SSTコンサルテーションについて

大阪府立砂川厚生福祉センター

【目的】

教育機関（支援教育課、府立支援学校）と福祉が連携して事業を行うことで、対人関係スキルの獲得を通じて、問題行動（窃盗、粗暴、性加害）を回避するという予防的支援への理解が深まる。これにより、各児童の特性を考慮した実践的な支援手法の共有と普及が促進される。

児童が将来、社会の中で安定した生活を送るためには、早期から自己対処能力を高め、良好な人間関係を築くスキルを身につけることが重要で、これにより、地域生活を円滑に維持・継続し、問題行動を回避してQOL（生活の質）の向上を図ることが目的である。

令和7年度 教育と福祉の連携事業 SSTコンサルテーションについて

【事業内容】 詳細は別紙

府立支援学校（2校）に訪問し、SSTに対してのコンサルテーションを実施

SV：梅花女子大学 心理こども学部 心理学科 瀧本 優子 教授 ・ 大阪府立砂川厚生福祉センターつばさ職員

【コンサル校募集および選定】

募集期間：5月15日（木）まで

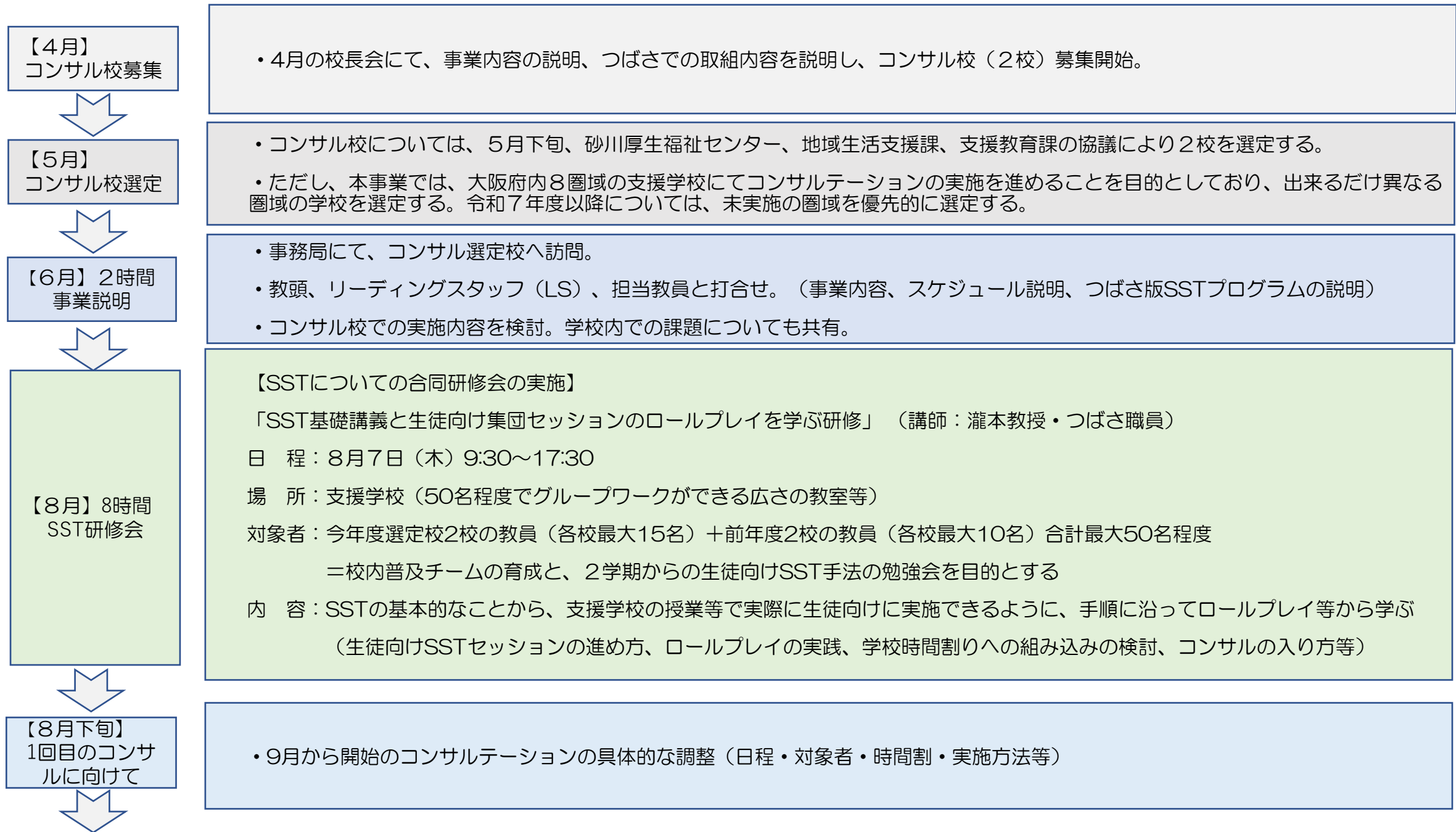
コンサル校については、砂川厚生福祉センター、地域生活支援課、支援教育課の協議により2校を選定する。ただし、本事業では、大阪府内8圏域の支援学校にてコンサルテーションの実施を進めることを目的としており、出来るだけ異なる圏域の学校を選定する。令和7年度以降については、未実施の圏域を優先的に選定する。

【支援対象】

高等部1年生の生徒で10人程度のグループ単位に、ロールプレイ手法を取り入れた支援が継続して実施できる学校が対象。

※尚、事業終了後の次年度に、継続的に学校全体の取り組みとして生徒にSSTを実施。将来の職場実習や卒業後の生活において、学習した対人関係スキルを活用できるように取り組む。

別紙【事業内容】年間スケジュール（4月～8月）



別紙【事業内容】年間スケジュール（9月～2月）

